

# 【R7新規開講？】 科目番号1118 実践型橋梁実習（通年2単位:必修）

徳山工業高等専門学校

チームお友ダチ

土木建築工学科

4年：◎兼坂亜季、吉津沙希

2年：住出若菜、弘中蓮

1年：兼坂友輔、新田花穂、坂東海音

## 【捉えた課題】

学生の悩み

- ・ 実験や実習の機会が少ない

企業の悩み

- ・ 建設業界の人手不足
- ・ 建設業界の魅力を伝える機会が少ない

橋の管理者の悩み

- ・ 渡れない橋が全国で約350橋！



これらを改善するために...

通行止めのまま放置されている橋を  
学生の教材として活用した実践型の授業

## “実践型橋梁実習”



## 【提案内容】

橋の管理者・地元の建設企業立会いのもと、  
劣化状況の診断から補修までを授業の中で実践的に学ぶ

## 【対象】

土木系の学科を持つ高専  
その後、工業高校や大学へ展開

### 橋梁点検



実際に橋に行き、損傷  
箇所を発見・確認する

### 補修計画の策定



橋梁点検で見つけた損傷箇所を  
どう補修するか計画を立てる

### 補修工事



補修計画を基に補修工  
事を行う

現場に突撃！！

## 山口県光市東荷橋

鉄筋露出が激しく、すぐにでも**補強の必要あり**！  
しかし...人材不足のため手が付けられない状態



## 【生まれる効果】

### 学生

- ・ 実践型の実験を行うことで、座学で学んだ知識を定着させることができる
- ・ 将来のイメージがしやすくなる

### 管理者

- ・ 渡れない橋を学校で活用することで橋の付加価値を見出す
- ・ 渡れない橋が減る

### 企業

- ・ 実践的な技術を学んだ学生が増え、即戦力となる技術者が増える
- ・ 学生と関わる機会ができ、建設業の魅力発信の場に

### 地域の人

- ・ 使えなかった橋が再び使えるように

